

子どもの未来を ともに拓く

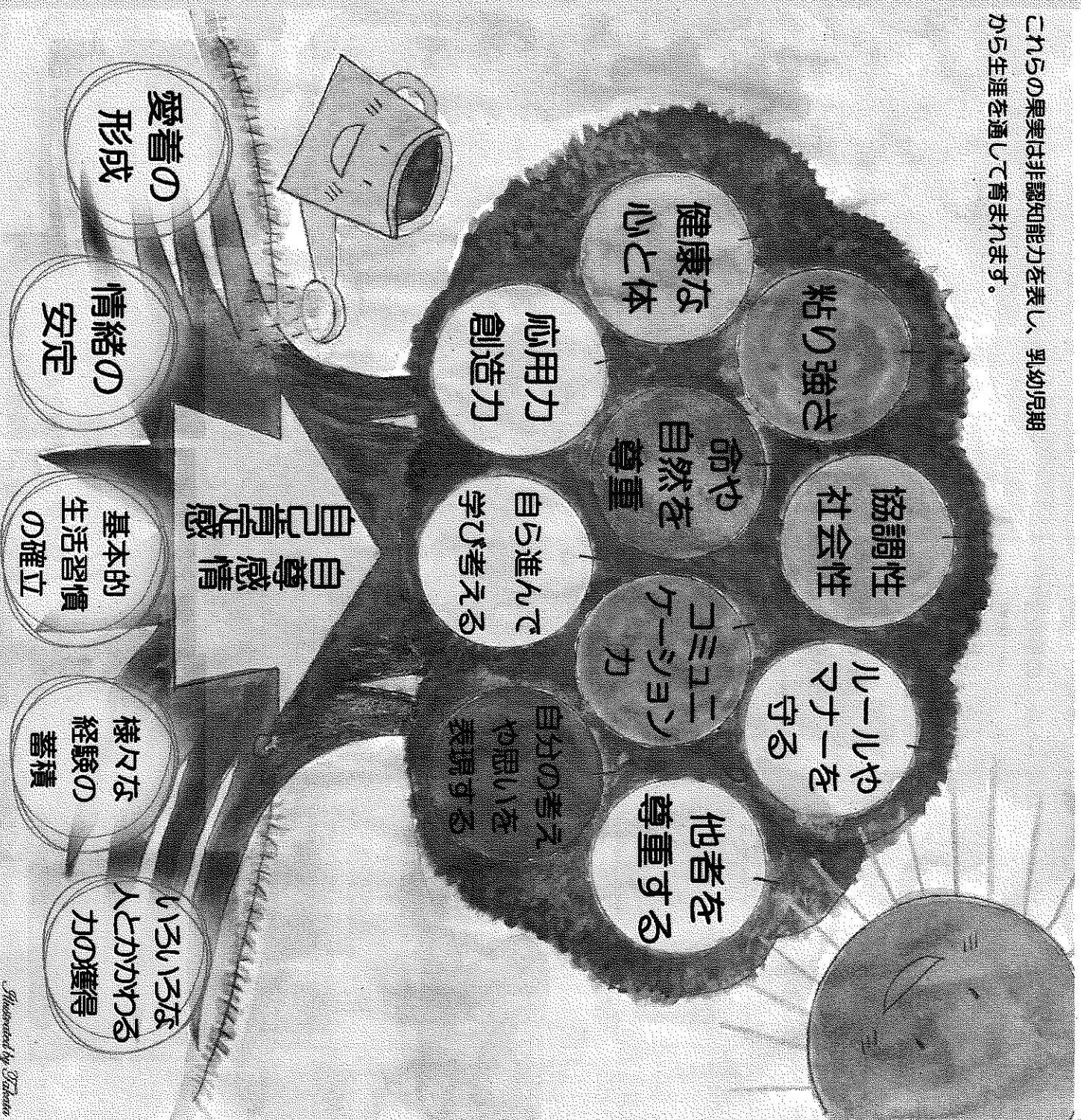
乳幼児期からのかかわりが、非認知能力の育成につながり、子どもの将来の力となります。家庭や園・学校、及び地域の中で、私たちが太陽のようなあたたかいまなざしや、かけがえない愛情のシャワーをたくさん注ぎ、情緒の安定などの成長に必要な土壌を耕すことで、たく強い幹が育ち、非認知の力が詰まった果実が実ります。

このリリーストは、すべての人が、子どもたちの成長に主体的にかかわり、子どもたちの未来をともに拓くようお願いを込めて作成しました。



デジタル版

これらの果実は非認知能力を表し、乳幼児期から生涯を通して育まれます。



子どもは、自分が大切にされていることを実感することで、安心感、信頼感を抱きます。

乳幼児期に大切にしたい“子どもの学びの場”と“かかわり”の一場面を紹介します。

「遊び」を通して学ぶ時期だからこそ、たくさん体験によって子どもの成長を支えていきましょう。

子どもの気持ちに共感を

子どもが嬉しい時は、「嬉しいね」と一緒に喜び、困ったときには一緒に考えたり、励ましたりしましょう。

そうすることで、“もう一度やってみよう”という気持ちか育ちます。

子どもの興味・関心を大事に

子どもが好奇心をもって取り組んでいることを大人も一緒に楽しんでみることが大切です。

繰り返し試したり、挑戦したりする中で思考力や粘り強さなど、多くの事を学びます。

成功体験が子どもの自信に

周りの大人から褒められたり、認められたりすることで自信が付き、やり抜いたことで達成感や満足感を味わい、他者と一緒に何かをする楽しさを感じられるようになります。

たとえば 公園では

挨拶や日常のコミュニケーションが子どもたちの安心につながります。

子どもが失敗をしたときには、思いをしつかり受け止め、安心できる言葉がけをしましょう。

スキンシップは、子どもの安心感につながり、様々なことに挑戦したいという気持ちか育まれます。



子どもの遊びは学びの場。
五感を使った遊びを通して、
発達に必要な経験を深めて
いきます。

小学生 健やかな成長を願い、力強くサポートを

この時期に見守りたい子どものいくつかの成長場面を紹介します。

自分一人でできることが増える一方で、まだまだ大人に頼る場面もあります。心と身体が大きく成長し始める時期だからこそ、子どもの発達や不安をじっくりと見守り、サポートしていきましょう。

基本的な生活習慣ときまりを

子どもには規則正しい生活を送ることができるようサポートが必要です。

また、学校や家庭でルールや役割を決めることで、社会や家族の一員であることを意識していきます。

予定や宿題などの見守りを

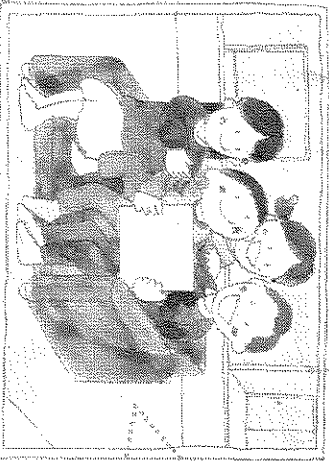
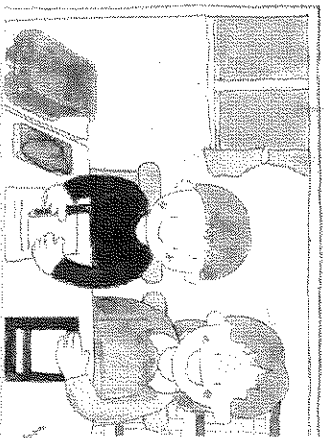
例えば学校への持ち物や宿題と一緒に確認し、子どもをサポートすることで、子どもは安心して学校生活を過ごせるようになります。

また、家族で読書の時間を楽しむなど、家庭での学びの場を作りましょう。

子どもに様々な体験を

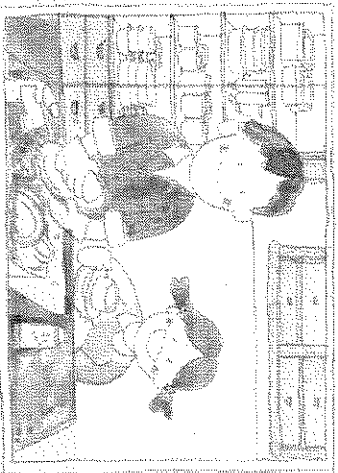
子どもの夢を育み、可能性を広げるために、自然体験や生活体験、文化芸術体験など、様々な体験の場に積極的に参加しましょう。

たとえば 家庭生活の中で



家族との時間は、子どもの安心感と意欲的にものごとに挑戦する気持ちを育てます。

様々な体験の共有は、子どもの興味・関心を広げていきます。



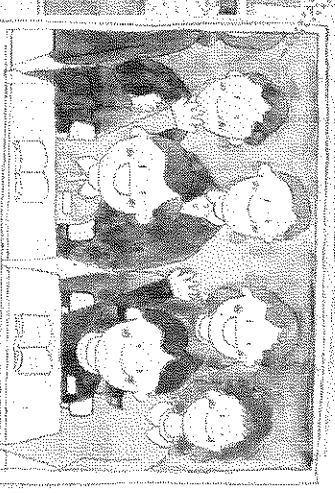
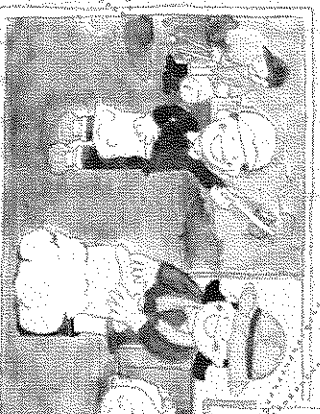
宿題を見守ることで、子どもの様子を知ることができます。

学校の行事に参加し、経験を共有することで、子どもの意欲が育まれます。



一緒に家事をすることで、家族の一員として自分の役割を感じることができます。

地域の行事に参加することで、地域の一員であることを実感します。



学校や地域などの行事で

中学生 思春期の特徴を理解し、共に考える存在に

この時期は、子どもから大人へ成長する過渡期で思春期といわれ、心と身体が急速に変化していきます。子どもたちは様々な不安、葛藤などで悩み、苦しみ、試行錯誤を繰り返しながら、大人になる階段を上っていく時期です。子どもの思いや、挑戦する姿勢を尊重し、たとえば、子どもが失敗したとしてもその思いを受け止め、一緒に考えることが大切です。

コミュニケーションを大切に

大人への依存度が減り、自身の考え、判断で行動しようとし、抑えられると反抗的な態度にでることもあります。それは、自我の芽生えであり、自立が始まった証拠です。子どもが困った時に相談できる関係づくりを心がけましょう。

規範意識を育てよう

子どもが自ら考え、正しい判断ができるようにすることが大切です。お酒やたばこ、違法薬物の危険性や、スマートフォンやインターネットのルールなどについても一緒に話し合い、子どもたちが安心して利用できるようにしましょう。

夢や進路について考える場を

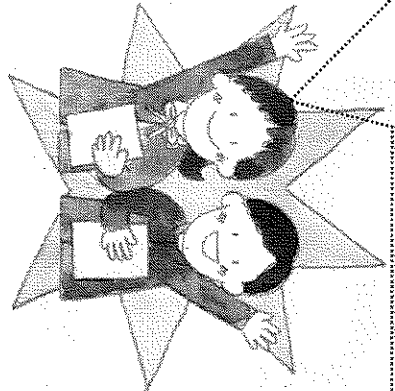
この時期の子どもたちは、自分を冷静に見つめ、自分探しを始める時期です。子どもが、主体的に進路を選択できるよう、子どもの適性を理解しながら、学校や家庭で話し合いましょう。

たとえば 家庭生活の中では



表情やしぐさなど、少しの変化も気にかげ、悩みを話せる時間や場を作っていきましょう。

学習に、より関心が高まるような会話を！！学習時間や場所など、環境を整えることも大切です。



子どもに仕事の大変さや、やりがいについて話をしてみませんか？
子どもの夢や進路について、一緒に考えていくことが大切です。

※無断でのイラストの転載等はお控えください。

子育てで悩んだときは…

津市の子育てハンドブック

津市の子育て支援に関する各制度などの情報をまとめた「津市の子育てハンドブック」です。妊娠期から幼稚園、保育所等を利用するまでの制度や悩んだ時の窓口、救急医療等についてまとめてあります。



津市HP

相談場所

お子さんの気になることについて一緒に考えます。お電話にてご相談ください。

- ① 教育相談室 TEL 223-4380 (朝音寺町359番地)
 - ★教育相談員★ 月～金曜日 10時～17時
 - ★教育相談専門員★ 毎月第1月曜日 12時～17時
 - 第3金曜日 9時～12時
- ② 久居教育相談室 TEL 254-0660 (久居北口町601番地)
 - ★教育相談員★ 毎週 月曜日 13時～17時
- ③ こども家庭センター 相談窓口 TEL 229-3374 (西丸之内23番1号)
 - ★相談担当★ 月～金曜日 8時30分～17時15分